資料室便り

交通専門図書館
交通経済研究所資料室

交通経済研究所資料室で収集・保管している資料をご紹介します。交通に関心のある本誌読者のみなさまの一助となれば幸いです。

新着書棚から（新しく受け入れた資料の紹介）

『シネマとパリの終着駅』

臼井幸彦著／柏艪舎発行／2021年４月／四六判／162 ページ／1,540 円（税込）

駅は市民生活の断面を映し出し，世相を色濃く反映する場所であり，実に多様な人々が往来している。そのため，駅は映画の舞台としてもよく使われ，そのあり様が映画をより印象深いものにしている。本書では，パリ市内にあるフランス国鉄（SNCF）の６つの頭端式終端駅（終着駅）を中心に，それぞれの駅を舞台にした映画を紹介する。著者は長年，札幌駅とその周辺の開発・運営に携わってきた人物であり，映画を通じて駅のあるべき姿を追い求める。その一方で，駅が収益の偏重や過剰な商業化によって「駅らしさ」を忘れることのないよう戒めている。

目次：城壁都市と終着駅／サン・ラザール駅／オーステルリッツ駅／モンパルナス駅／北駅／東駅／パリ・リヨン駅／旧オルセー駅／終着駅ところどころ／ほか

原

『世界の SDGs 都市戦略 ――デジタル活用による価値創造』

櫻井美穂子著／学芸出版社発行／2021 年７月／四六判／256 ページ／2,640 円（税込）

本書は，経営情報システムの研究者（国際大学准教授）が，持続可能な街づくりについて，レジリエンスをキーワードとして，鎌倉やグラスゴーなど世界 20 都市の事例を通じて考察したものである。行政や企業など街づくりの主体は，ステークホルダーと協働しながら，持続的な適応力というレジリエンスの考え方を活用し，都市における社会課題をデザイン思考に基づいて特定するとともに，システム思考により要素を整理し，①知識創造，②エンゲージメント・コミュニティ力，③サービス創出と提供，④ローカル情報の活用，⑤パーソナライズという仕組みとデジタル活用によって解決している。それにより，都市が新しい価値を創造し，進化することで，ウェルビーイングと暮らしやすさを実現し，SDGs のゴール 11 が掲げる都市の持続可能性へとつなげている。

目次：SDGs 時代の未来都市／世界の都市における SDGs 戦略／SDGs 達成を支えるツール／価値創造の鍵となるデジタル活用／日本の SDGs 事例にみる DX／SDGs 時代のスマートな社会デザイン／ほか

古森

新着情報（2021 年９月分）

＊資料室で入手した主要図書をお伝えします。
記事の構成：書名，編著者名，発行所，発行年月

＜和　　書＞

1　MaaS が地方を変える―― 地域交通を持続可能にする方法　森口将之　学芸出版社　2021 年９月
2　交通政策白書 令和３年版　国土交通省編　勝美印刷　2021 年８月
3　モビリティと地方創生　切通堅太郎，西藤真一，ほか　晃洋書房　2021 年９月

4　観光白書 令和３年版　国土交通省観光庁編　日経印刷　2021 年８月
5　2020 年イベント消費規模推計報告書　日本イベント産業振興協会　同法人　2021 年６月
6　変化する旅行ビジネス〔改訂版〕　小林弘二，廣岡裕一編　文理閣　2021 年８月
7　ポストマスツーリズムの地域観光政策　上山肇，須藤廣，ほか編　公人の友社　2021 年８月
8　団体旅行の文化史　山本志乃　創元社　2021 年９月
9　地域モビリティの再構築　家田仁，小嶋光信監修　薫風社　2021 年８月
10　横浜市営交通 100 年　横浜市交通局，横浜交通開発，ほか編　神奈川新聞社　2021 年４月
11　交通・都市計画の QOL 主流化――経済成長から個人の幸福へ　林良嗣，森田紘圭，ほか編　明石書店　2021 年８月
12　鉄道と郊外――駅と沿線からの郊外再生　角野幸博編　鹿島出版会　2021 年８月
13　歴史のダイヤグラム――鉄道で見る日本近現代史　原武史　朝日新聞出版　2021 年９月
14　北海道の鉄道開発者――鉄道技師・大杉卓一の功績　高津俊司　成山堂書店　2021 年８月
15　全国主要都市駅別乗降者数総覧 2021　エンタテインメントビジネス総合研究所編　同社　2021 年９月
16　Apple Car――デジタル覇者 vs 自動車巨人　日本経済新聞・日経クロステック合同取材班　日経 BP　2021 年８月

＜外　国　書＞

17　New Mobilities――Smart Planning for Emerging Transportation Technologies　Todd Litman　Island Press　2021 年
18　Public Space and Mobility　Rianne van Melik, Pierre Filion, ほか編　Bristol University Press　2021 年
19　Shared Mobility　Junfeng Jiao　Elsevier　2021 年
20　TGV――Une fabuleuse épopée technologique et humaine　Didier Janssoone　E-T-A-I　2021 年６月

書庫のなかから（所蔵資料の紹介）

『交通学研究――1957 年研究年報』（第１号）
日本交通学会／1957 年 10 月

本誌に研究活動を紹介するページを持つ日本交通学会は，このほど節目となる第 80 回研究報告会を開催した。研究報告会で報告・討論された内容は学会誌である『交通学研究』に掲載されるが，本書はその第１号である（前身の東亜交通学会は『東亜交通論集』を刊行）。内容は 10 編の研究論文／文献紹介／学会展望からなっている。巻末には同学会のそれまでの活動記録が掲載されている。とくに第１回から 15 回までの研究報告会における論題名が記され，草創期の研究対象や研究課題を知ることができる。なお，資料室では，本書から第 64 号（2021 年）までの全号を所蔵している。交通学界の諸先輩の学説や方法論にくわえ，最新の研究領域にも触れることができる。　土方

交通経済研究所資料室のご案内

交通経済研究所では，交通に関する調査・研究をされている方へ蔵書の一部を公開しています。詳細につきましては，ホームページをご覧ください。

一般財団法人　交通経済研究所　資料室
住所：東京都台東区上野７−1−1（〒 110-0005）
電話：03-3841-4165／FAX：03-3841-4859
電子メール：Library@itej.or.jp
ホームページ：https://www.itej.or.jp
最寄駅：JR／東京メトロ上野駅から徒歩３分

検索ページ

＊ホームページで「蔵書オンライン検索」を公開しています。交通を中心とした図書・雑誌が検索できます。どうぞご利用ください。

担当：土方規義　古森崇史　原祥太　田邊由佳